



— いい音、浦安から —

J:COM 浦安音楽ホール
URAYASU CONCERT HALL



©Brandon Ilaw



©Marc Bauhron



©Akira Muto

ステラ・チェン (ヴァイオリン)
Stella Chen, Violin

福間洸太郎 (ピアノ)
Kotaro Fukuma, Piano

吉田南 (ヴァイオリン)
Minami Yoshida, Violin

ストラディヴァリウス デュオ・コンサート

～ 1708年製「ハギンス」と1716年製「ブース」の響き～

Program

ルクレール: 2つのヴァイオリンのためのソナタ ホ短調 作品3-5
フランク: ヴァイオリンソナタ イ長調 (吉田南)

ブラームス: ヴァイオリンソナタ第3番 ニ短調 作品108 (ステラ・チェン)
ショスタコーヴィチ: 2つのヴァイオリンとピアノのための5つの小品

2022年1月24日(月)

19:00 開演 (18:30 開場)

J:COM 浦安音楽ホール コンサートホール

※未就学児童の入場はご遠慮ください。

※やむを得ない事情により、出演者、曲目等が変更になる場合があります。予めご了承ください。

[チケット] 一般発売: 11月13日(土) 9時～ 5,000円 [全席指定] [ご予約・お問合せ] 047-382-3035

発売初日はWEB、電話のみ

本コンサートチケット売上の全ては、浦安市文化芸術振興基金に積み立てられます

J:COM浦安音楽ホール 開館時間 午前9時～午後10時(受付時間: 午前9時～午後9時) 休館日 第2・第4火曜日(祝日は開館)

〒279-0012 千葉県浦安市入船1丁目6番1号 新浦安TKビルディング内 URL <http://www.urayasu-concerthall.jp/>



日本音楽財団
NIPPON MUSIC FOUNDATION



主催: 浦安市、日本音楽財団
助成: 日本財団



©Brandon Ilaw

ステラ・チェン (ヴァイオリン) / Stella Chen, Violin

2019年ベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクールにて優勝。副賞として日本音楽財団から貸与されたストラディヴァリウス1708年製ヴァイオリン「ハギンス」を使用している。2017年ティポール・ヴァルガ国際ヴァイオリンコンクールにて最高位を受賞した他、2008年メニューイン国際コンクールに最年少で入賞した。2020年にはエイブリー・フィッシャー・キャリアグラントを受賞した他、リンカーン・センター・エマージング・アーティスト賞を受賞した。

ハーバード大学とニューイングランド音楽院のデュアル・ディグリー・プログラムにより、ハーバード大学にて心理学学士を、ニューイングランド音楽院にて音楽修士を取得。現在は、CV.スター博士課程の研究員候補生としてジュリアード音楽

院に、専門研究員候補生としてクロンベルク・アカデミーに在籍している。師事した先生及びメンターにはリ・リン、ミハエラ・マーティン、ドナルド・ワイラースタイン、イツァーク・パールマン、ミリアム・フリード等がいる。

これまでにベルギー国立管弦楽団、ブリュッセル・フィルハーモニック、ルクセンブルク・フィルハーモニー、ローザンヌ室内管弦楽団、ロンドン室内管弦楽団、BBCウェールズ交響楽団等と共演した他、ラヴィニア音楽祭やザルツブルク・モーツァルテウムでのデビュー公演を行っている。また、イツァーク・パールマン、ロバート・レヴィン、ガボール・タカーチ=ナジ、マシュー・リップマン、シルクロード・アンサンブル等、著名な奏者と共演している。今後、シカゴ交響楽団との共演を予定している。

【ステラ・チェン使用】

ストラディヴァリウス 1708 年製ヴァイオリン「ハギンス」

このヴァイオリンは、1870年代後半にフランスからウィーンにもたらされ、1882年にイギリスの天文学者ウィリアム・ハギンス卿(1824~1910)が購入し、所有していたことから「ハギンス」と呼ばれている。色艶も鮮やかで保存状態に優れている。日本音楽財団は1997年よりベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクール・ヴァイオリン部門優勝者に副賞として次のコンクールまでこの楽器を貸与し、コンクールの発展と演奏家の技術向上に寄与している。



©Andrew Huribut

吉田南 (ヴァイオリン) / Minami Yoshida, Violin

1998年奈良県出身。5歳よりヴァイオリンを始め、桐朋女子高等学校音楽科卒業後は桐朋学園大学音楽学部ソリストディプロマコースを学費等全額免除特待生として修了した。現在、学長奨学金を得てニューイングランド音楽院、特別特待奨学生として東京音楽大学アーティストディプロマコースに在籍し、ミリアム・フリード、原田幸一郎、竹澤恭子の各氏に師事している。これまでに、2014年日本音楽コンクール1位及び5つの特別賞受賞の他、2015年シベリウス国際ヴァイオリンコンクール、2016年モントリオール国際音楽コンクール、2021年

ハノーファー・ヨーゼフ・ヨアヒム国際ヴァイオリンコンクールなど数々のコンクールで入賞を果たしている。現在、江副記念リクルート財団、タン・ファミリー教育財団より活動支援を受けている。12歳で大阪フィルとの共演を皮切りに、国内のオーケストラ以外にも、ヘルシンキ・フィル、フィンランド放送響、モントリオール響など多数の著名なオーケストラと共演している。また、ボストン、シカゴ、ニューヨーク、テキサスの他、カナダ、ドイツ、オランダ、ベルギー、フィンランド、シンガポール、韓国、台湾など様々な国や地域で演奏を行っている。

【吉田南使用】

ストラディヴァリウス 1716 年製ヴァイオリン「ブース」

1855年頃にイギリスのブース夫人が所有していたため、現在の名が付けられている。彼女はヴァイオリンの才能を発揮した2人の息子たちのためにストラディヴァリウスのクアルテットを形成しようと試み、この楽器を購入した。1931年にアメリカの名高いヴァイオリン奏者ミッシャ・ミシャコフ(1896~1981)の手にわたり、1961年にはニューヨークのヘンリー・ホットティンガー・コレクションの一部となった。音色の美しさ、音の力強さにおいて知名度が高く、保存状態も優れている。



©Marc Bouthron

福岡光太朗 (ピアノ) / Kotaro Fukuma, Piano

パリ国立高等音楽院、ベルリン芸術大学で学ぶ。20歳でクリエグランド国際コンクール優勝(日本人初)およびショパン賞受賞。これまでにカーネギーホール、リンカーンセンター、ウィグモアホール、サントリーホールでリサイタル他、クリエグランド管、イスラエル・フィル、NHK交響楽団など国内外の著名オーケストラとの共演も多数。2016年7月にはネルソン・フレイレの代役

として急遽、トゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団定期演奏会において、トゥガン・ソヒエフの指揮でブラームスのピアノ協奏曲第2番を演奏し喝采を浴びた。CDは「バッハ・ピアノ・トランスクリプションズ」(ナクソスジャパン)など17枚をリリース。現在ベルリン在住。

オフィシャル・サイト：<http://www.kotarofukuma.com>

J:COM浦安音楽ホール 047-382-3035

開館時間 午前9時~午後10時(受付時間:午前9時~午後9時) 休館日 第2・第4火曜日(祝日は開館)

〒279-0012 千葉県浦安市入船1丁目6番1号 新浦安TKビルディング内 URL <http://www.urayasu-concerthall.jp/>